

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	委員会行政視察事業	会計	一般会計	事業No.	838	施策順No.	91-004
		事業種別	政策・その他	予算科目	1-1-1-10-1		
政策	9 市民と共に進める行政経営			課等名	議会事務局		
施策	91 市民参画による協働の促進			事業期間	開始	終了	

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	常任委員会、議会運営委員会、(特別委員会)						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		4常任委員会と議会運営委員会・特別委員会の合計数	6	6	5	7	7	
	意図	先進事例の調査ができ 調査結果を委員会審査へ活かせる						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	視察した事例の数	22	17	16	20	19	20	A
	先進事例に基づいた政策提言の数				2	5	2	
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	各常任委員会及び庁舎建設特別委員会において、先進事例を参考に事務事業評価等の検証を行い、提言に反映した。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	常任委員会及び議会運営委員会を中心に所管事務調査として先進地の視察を行うことにより、当該委員が地域課題を把握し、共有化することで委員会審査に活かす。 視察には執行機関側の所管部長及び議会事務局職員が随行する。 その他、特別委員会、検討委員会では、必要がある場合に実施している。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 総務文教委員会 (1) ファシリティマネジメントの取組みについて(千葉県佐倉市) (2) 指定管理者制度の再指定に当たっての指定期間・選定方法の改善の取組み(東京都目黒区)	①総文視察事例数 ②社会視察事例数 ③産経視察事例数 ④建環視察事例数 ⑤議運視察事例数 ⑥その他の視察事例数	①2件 ②4件 ③5件 ④3件 ⑤1件 ⑥4件
	2 社会委員会 (1) 福祉コミュニティ都市推進事業について(小樽市) (2) 旭川市障害者福祉センターについて(旭川市) (3) 子育て支援事業取組みについて(札幌市) (4) 食育の取組みについて(札幌市)		
23年度実施計画	3 産業経済委員会 (1) 過疎対策とコミュニティの活性化について(新潟県十日町市) (2) 交流人口の増加と地域の活性化について(新潟県十日町市) (3) バイオマスによる循環型産業のビジネスモデルの創造について(新潟県上越市) (4) 異業種交流によるユニバーサルデザインの研究開発と普及促進について(新潟県燕市) (5) 有害鳥獣対策・わな特区の取り組み経過と現状及び成果と課題について(愛知県豊根村)	1総文視察事例数 2社会視察事例数 3産経視察事例数 4建環視察事例数 5議運視察事例数 6その他の視察事例数	
	(1) 総務文教委員会管外視察(2泊3日) (2) 社会委員会管外視察(1泊2日) (3) 産業経済委員会管外視察(2泊3日) (4) 建設環境委員会管外視察(1泊2日) (5) 議会運営委員会管外視察(1泊2日) (6) 庁舎建設・リニア推進対策特別委員会管外視察(日帰り)		

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補正事項
	国庫支出金					
	県支出金					
	起債					
	その他					
一般財源		3,178	3,003	3,292		
計(A)		3,178	3,003	3,292		
正規職員所要時間			300			
臨時職員等所要時間						
人件費計(B)			1,073			
トータルコスト A+B			4,076			

4 事業に対する市民や議会の意見

【議会内部の意見】	議会改革検討委員会において、常任委員会の管外視察について協議。調査機能を高めるため、引き続き実施との意見集約を行っている。
【市民の意見】	遠方への視察などについて、その効果を疑問視する声がある。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	市役所・市民が協働したまちづくりを進める	施策の成果指標又はムトス指標	協働のまちづくりが進められていると感じている市民の割合 投票率 イ)市議選:64.33%(平成21年4月19日執行)
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	・行政視察も活用し、平成21年度から委員会による行政評価/政策提言を実施してきた。(平成20年度は試行実施)		
	後期に向けた課題	・執行部側や市民との課題について認識を共有し、先進事例視察をまちづくりに効果的に活用するシステムの検討。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	・市の課題となっている事項について、先進地視察を行ってきた。		
	後期に向けた課題	・視察地選定については、市の課題を精査して決定していく必要がある。		
コストを削減するためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	・常任委員会の視察は、以前2泊3日の行程で毎年実施していたが、行財政改革の視点から委員会毎に1泊2日と2泊3日の行程を隔年で実施するよう変更した。(議会運営委員会では1泊2日の行政視察を毎年実施。)		
	後期に向けた課題	・旅費削減のため、視察地の選定に配慮する。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	・議員の旅費は旅費規定に基づき支出されている。		
	後期に向けた課題	・議会報告会、視察結果等を市の公式サイトで公表するなど市民への説明責任を果たす。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしてみましたか、又は、配慮してありましたか	4年間の振り返り	・庁舎建設特別委員会では、「庁舎建設検討市民会議」の委員(市民)のみなさんと合同で、先進地(犬山市、西尾市)への視察研修を行い、情報の共有化を図った。		
	後期に向けた課題	・視察結果等を市の公式サイトに掲載することで、市民との情報共有を図る。		
全体を通じて	4年間の振り返り	・議会報告会での市民のみなさんからの意見や、行政評価における課題抽出事項を、先進事例選定の基礎としていくこととした。また、平成23年度より成果についても翌年度の議会報告会で説明していくことを確認している。		
	後期に向けた課題	・行政視察の在り方について、自治基本条例の検証の中でより効果的で効率的な方法を検討していく必要がある。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要がありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要がありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------